パーソン

半導体関連のトレンド追求

「静と動」の余暇活動でリフレッシュ

直近の業績について「副資材などの半導体関連分野が好調で、事業を牽引している」と話す森六の文字英人専務執行役員。ケミカル事業本部長を兼務し、既存事業や新規ビジネス拡大の指揮を執る。足元では半導体関連分野に追い風が吹く一方、半導体メーカーが次々と新たな技術や材料へ移行するため、自社が提供する商材が採用され続けるかは「1か0かの世界」。商社としてトレンドについていく難しさも指摘する。



森六専務執行役員
文字 英人 氏

国内外を忙しく飛び回る合間に没頭するのが、「静と動」の余暇活動だ。読書では東西冷戦を背景にした近現代史のリアルなドキュメントとフィクション作品を好んで読む。お気に入りの作家はスパイ小説で有名なジョン・ル・カレ氏。世界的なベストセラー「寒い国から帰ってきたスパイ」を初めて読み、その面白さや完成度に衝撃を受けたという。

「動」の一つは、約30年に及ぶライフワークのランニング。体型維持や気分転換を目的に始まり、現在は週末に相当な距離を積み重ねる。森六創業の地、徳島で開催される徳島マラソンには、これまでにフルマラソンで6回出場した。走った後の内臓へのダメージに苦笑しつつも、「その分お酒が美味しくなる」と語る気取らない人柄が印象的だ。

ヘヴィ・メタルやハードロックといった洋楽ロック愛好家の一面も。往年の名バンドからハードコアパンクまで精通し、サンフランシスコのスラッシュ・メタルシーンを追ったドキュメンタリー映画を劇場で鑑賞するほど。かつては自らバンドのボーカルを務め、社内外のメンバーとバンド活動を続けていた。最近はプラモデル製作やマウンテンバイクも楽しむ。多彩な趣味でリフレッシュしながら、さらなる業績向上へ活力を蓄えている。

掲載内容（画像・文章等）の一部及び全てについて、無断で複製、転載、転用、改変等を禁じます。